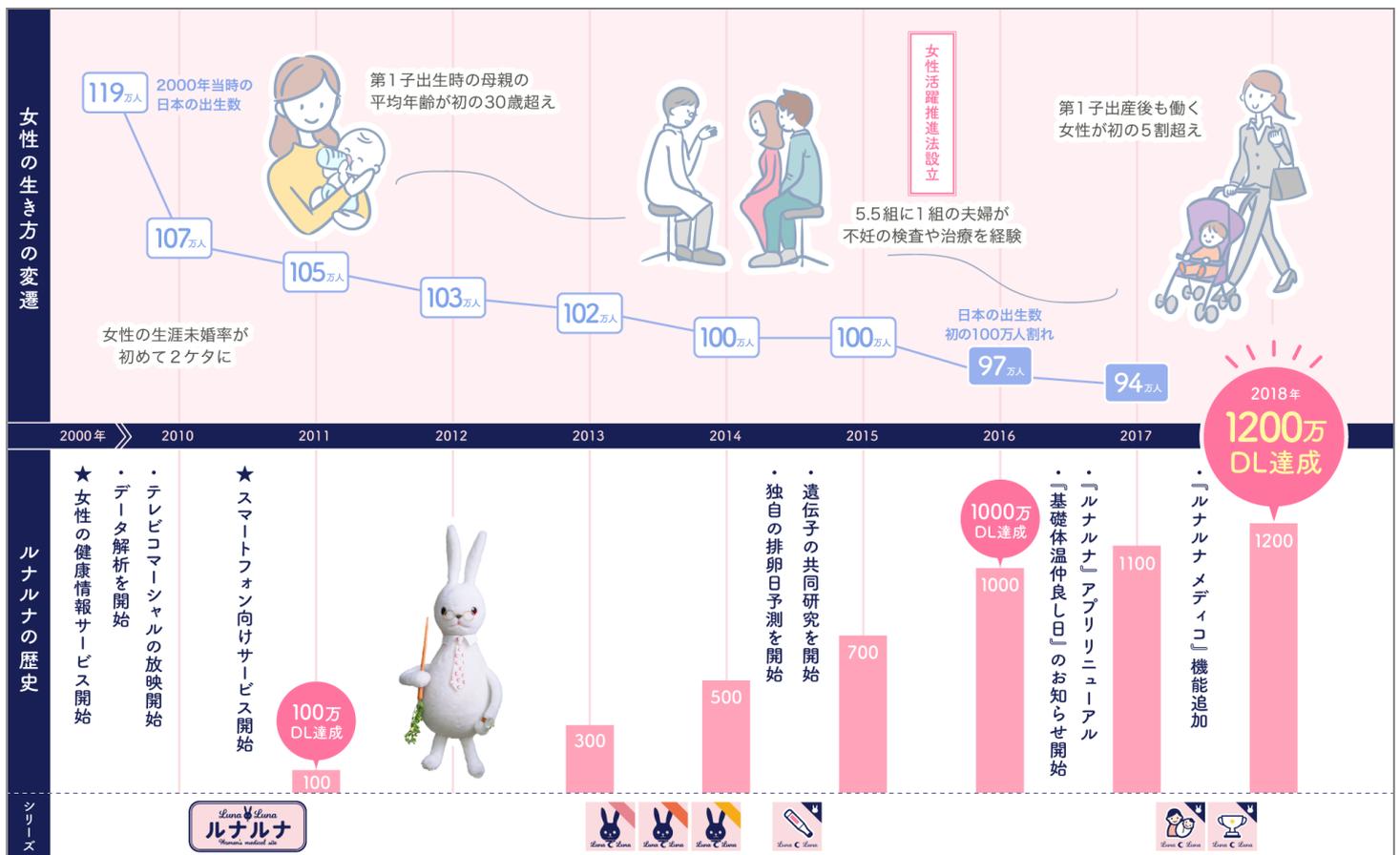


『ルナルナ』のアプリが 1,200 万 DL を突破 ～ 移り変わる女性のニーズをキャッチし、出生数の 15% が『ルナルナ』baby! ? ～

(株)エムティーアイが運営する、ライフステージや悩みにあわせて女性の一生をサポートする健康情報サービス『ルナルナ』は、この度アプリ版のサービスにおいてダウンロード数 1,200 万を突破しました。

「すべての女性の幸せの実現に貢献する」というミッションのもと 2000 年よりスタートした本サービスは、今年で 18 年目を迎え、その間にも女性の社会進出、出産年齢の上昇、そして不妊への不安を抱える夫婦の増加など、時代とともに女性の健康を取り巻く環境や課題は変化しています。『ルナルナ』はそれらに対応すべく、独自ロジックを活用した妊活サポート機能や、サービス内に記録した健康情報を提携した産婦人科医へ提示できる機能の提供など、あらゆる女性の生き方をサポートするためのサービスとして発展し、今日まで多くの女性に愛用されています。

◆ 生理日管理から妊活、産婦人科受診のサポートまで！すべての女性のそばに、『ルナルナ』



≪女性の活躍の場が拡大！働く女性を取り巻く健康課題にも変化が…≫

『ルナルナ』がフィーチャーフォン向けにサービスを開始した 2000 年は、共働き世帯が増加し、女性の活躍の場が広がり始めた時期でした。当時はまだ一般的ではなかった“生理日管理”サービスのパイオニアとして、TVCM を中心とした積極的なコミュニケーションの結果、徐々に世の中での認知を拡大し、女性たちの健康をモバイルで簡単にサポートできるツールとして支持されてきました。

女性の社会進出が進むにつれ、生理痛や PMS(月経前症候群)など女性特有の症状について職場の理解が得られにくいなどの課題が増加しています。サービス内で行ったアンケート※1 では、重い生理痛や PMS を抱えながらも上司や同僚に理解されない、あるいは申しづらい環境に苦しんでいる人や、女性特有の疾患や身体的な事情で目指していたキャリアを諦めざるを得なかったという意見も少なくありません。このような声をうけ、『ルナルナ』では生理日記録・管理だけでなく、女性の健康サポートに役立つ機能追加や男性への知識啓発、女性の声を社会へ発信するなど、女性を取り巻く環境を改善するための取り組みも行っています。

《出生数は過去最低に。進行する少子化の背景にある女性の本音とは・・・？》

ライフスタイルが多様化し、女性の生涯未婚率の上昇^{※2}や第1子出生時の母親の平均年齢が30歳を超えるなど^{※3}晩婚化・晩産化も進むなか、2016年には年間出生数が統計以来初めて100万人を割るなど^{※3}減少傾向が続き、少子化が深刻な社会問題となっています。

『ルナルナ』で行った、将来子どもを望むユーザーに対してのアンケート調査の結果でも、結婚や出産に踏み切れない女性の本音が明らかになりました。^{※4} 子どもを持つことを想定した際に不安なことはあるかを聞いたところ、既婚・未婚に関わらず約9割のユーザーが「ある」と回答し、具体的な内容として「自分が妊娠できるかどうか」や「経済

今後子どもを持つことを想定した際、不安に思うこと（既婚女性：上位5つ）

自分が妊娠できるかどうか	81.9%
経済的な負担	59.8%
妊娠～育児と仕事が両立できるか	35.8%
出産時の自分の体力・体調面	33.2%
なかなか妊娠できなかったときにパートナーの協力が得られるか	17.7%

的な負担」、「妊娠～育児と仕事が両立できるか」などが多くあげられました。子どもを望む気持ちはあっても、多くの女性が妊娠・出産に対して不安を抱え、踏み切れないことがわかります。

一方、妊娠はいつでもできると考えている人も少なくなく、不妊を疑ったり病院を受診するまでに時間がかかってしまう夫婦がいることもわかり、自治体と協力し、自身が受けられる不妊治療助成制度をわかりやすく提示したり、男女に共通する妊娠・不妊についての知識啓発にも取り組んでいます。

《日本の出生数の15%が『ルナルナ』baby！？不妊の不安を抱えるユーザーを独自ロジックで支援》

国立社会保障・人口問題研究所が行った調査^{※5}によると、不妊検査や治療を経験したことのある夫婦は約5.5組に1組と言われており、子どもを望む夫婦が不妊に悩むケースは年々増加傾向にあります。このような、時代の移り変わりとともに変化するユーザーのニーズに寄り添うため、現在は妊活のサポート機能の充実も図っています。

2014年には『ルナルナ』のサービス内に蓄積されているユーザーの月経周期と排卵日のビッグデータを解析し、より高精度な排卵日や妊娠しやすい日の予測を可能とする独自ロジックを構築。これにより、ユーザーは複雑な計算をする必要なく自身の生理周期に合わせた高精度な排卵日予測を活用できるようになり、より個人に合ったアドバイスを受け取ることが可能となりました。

現在では、サービス内で妊娠希望モードを利用しているユーザーのうち、年間約14～15万人が妊産婦向けの姉妹アプリ『ルナルナ ベビー』へと移行していることから、年間の出生数と比較するとその15%にあたる数の女性が、『ルナルナ』を通して妊娠・出産・育児を経験していると推測しています。

また、2017年にはアプリ上で記録した生理日や基礎体温などの情報を、ユーザーの同意のもと、産婦人科の医師が診察時に確認できるサービス「ルナルナ メディコ」の提供を開始し、『ルナルナ』の活用シーンは日常から臨床現場にまで広がりを見せています。

The screenshot shows the 'Luna Luna ルナルナ' app interface. At the top, it says '仲良し日' (Fertility-friendly days). Below that, it displays '生理周期30日 あなたの仲良しタイミング' (30-day menstrual cycle, your fertility-friendly timing). There are three main sections: 'チャレンジ期間' (Challenge period) from May 23 (Wed) to May 27 (Sun), 'おすすめ期間' (Recommended period) from May 24 (Thu) to May 26 (Sat), and 'おすすめ日' (Recommended day) on May 25 (Fri). A note at the bottom says '※パートナーに仲良し日を共有できます' (You can share fertility-friendly days with your partner) and there is a 'LINEで送る' (Send via LINE) button.

《図：『ルナルナ』が独自で予測する「仲良し日」》

ICTの進歩と普及に伴って、人々の健康管理にはこれまで以上に個人のヘルスケア情報や、ビッグデータ解析による新しい知見などが活用されることが予想されます。それは生理日管理や妊活のための基礎体温管理など女性特有の健康管理も例外ではないでしょう。今後『ルナルナ』では、サービス提供により蓄積されたビッグデータや、サービスの高い利用率を強みに、研究機関との共同研究による新機能の開発や、医療連携による婦人科受診の効率化、遠隔診療や治療履歴の管理など、ユーザーの負担軽減となるサービスを提供することで、女性の健康と幸せにより貢献することを目指します。

※1:『ルナルナ』によるアンケート

調査対象:20~50代以上の女性 10,314名 調査実施期間:平成28年11月18日(金)~11月20日(日)

※2:国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集2014」より

※3:厚生労働省「平成28年 人口動態統計」より

※4:『ルナルナ』によるアンケート

調査対象:10~50代以上の女性 33,284名 調査実施期間:平成29年9月6日(水)~9月18日(月)

※5:国立社会保障・人口問題研究所「第15回出生動向基本調査」(2015年)より



サイト名	ルナルナ®
概要	<p>ライフステージや悩みにあわせて女性の一生をサポートする健康情報サービス</p> <p><無料コース> 生理日予測を始めとする、女性のカラダとココロの健康管理サービス。 過去の生理日から生理日・排卵日を予測し、日々の体調変化をお知らせします。</p> <p><ベーシックコース> デリケートな女性のカラダとココロの健康情報サービス。 生理日管理に加えて、あなたにあったカラダやお肌、ココロの状態を365日サポートします。</p> <p><ファミリーコース/プレミアムコース> 妊活から妊娠・出産までを独自の予測ロジックやアドバイスでサポートするサービス。 妊娠しやすいタイミングを「仲良し日」としてお知らせし、妊活を手厚くサポートします。</p>
課金額(税抜)	ベーシックコース:月額180円 ファミリーコース:月額300円 プレミアムコース:月額370円
アクセス方法	『ルナルナ』で検索

※『ルナルナ』は(株)エムティーアイの登録商標です。

報道関係の方からのお問い合わせ先

株式会社エムティーアイ 広報室
TEL :03-5333-6323 FAX: 03-3320-0189
E-mail: mtipr@mti.co.jp
URL: <http://www.mti.co.jp>

一般のお客様からのお問い合わせ先

株式会社エムティーアイ コンタクトセンター
E-mail: newlnln_support@cc.mti.co.jp